



天童市でも起こるだろう大地震に備えて ～自主防災リーダーの育成は～

三宅 和 広 議員

本市でもいつつ大地震が発生してもおかしくない。本市の防災計画について伺いたい。天童市地域防災計画では、地域の防災組織を活性化するために自主防災リーダーを養成するとしている。「防災士」は専門的知識を持っており、自主防災リーダーとして適任である。防災士が継続してリーダーをやれば防災組織の活性化につながると思う。

防災士の育成に市としてもっと力を入れる必要があると思うが、考えを伺いたい。**山本市長** 本市では自主防災組織リーダーを育成するため、県の消防学校で自主防災リーダー研修を受講しており、これまで115名が修了した。また、昨年は県の防災士養成研修講座を市民の方から受講していただき、防災士8名が誕生した。

今後、多くの方から防災士の資格を取っていただき活躍していただきたい。自主防災組織等に積極的にPRしていく。

大きな被害が想定される!

山形盆地断層帯地震による天童市の被害想定

建物被害（全壊）	2,637棟
建物被害（半壊）	3,388棟
断水世帯率	93.4%
停電世帯率	36.1%
建物被害り災害者数	14,204人
避難所生活者数	6,761人

(出典：平成14年山形盆地断層帯古震想定調査)

収容避難所の開設と運営は

住宅が損壊した方などのために収容避難所を開設することとなるが、その収容避難所の開設と運営はどのように計画しているのか。

山本市長 避難所運営マニュアルを策定している。災害発生直後の混乱する時期は、市職員による避難所運営班が避難所を開設し運営にあたることとしている。その後、開設からおおむね3日目を目途に、各避難所毎に避難所運営委員会を設置し、自主防災会長等から避難所運営リーダーを選出していただき、市職員と協力して避難所を運営していくことにしている。